

東京23区が
見える。わかる。

2023 WINTER

Vol.51

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

文化的生活を楽しむ場 23区図書館

■図書館

- 渋谷区…中央図書館
- 中野区…中野東図書館
- 杉並区…中央図書館
- 豊島区…千早図書館
- 北区…中央図書館
- 荒川区…ゆいの森あらかわ

■クマなくさんぽ

- …海苔づくりの歴史・文化の伝承と創造の場
大森 海苔のふるさと館(大田区)

■所蔵資料蔵出し

- …「電車自動車行程早わかり 新大東京区別町名交通便覧」
「ポケット大東京案内」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

「茨城ふるさとフェア」

令和4年10月20日(木)に東京区政会館1階オープンスペースにおいて、「茨城ふるさとフェア」を開催しました。

本イベントは、茨城県の魅力発信と東京23区との交流を目的として開催されたもので、当日は茨城県23市町村と茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」が出店し、特産品の販売、観光情報などのPRを行い、大変賑わいました。

イベントを通じて、多くの方に茨城県の魅力を感じていただけたのではないかと思います。また、参加された自治体には「全国連携プロジェクト」についてPRしました。

出展団体

日立市、土浦市、古河市、下妻市、常陸太田市、笠間市、ひたちなか市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、かすみがうら市、桜川市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、境町、利根町、茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」



フェアの様子

東京23区食品ロス削減取組紹介展示

「東京23区は食品ロスゼロを目指します～今日から家庭でできること～」

こんなことしたよ

特別区清掃リサイクル主管課長会及び公益財団法人特別区協議会の共催による東京23区食品ロス削減取組紹介展示「東京23区は食品ロスゼロを目指します～今日から家庭でできること～」を東京区政会館(1階エントランスホール)にて、令和4年9月9日から11月2日まで開催しました。

10月の食品ロス削減月間に合わせ、東京23区の家庭でできる食品ロス削減を紹介するとともに、クイズラリー形式で楽しみながら学べる機会を提供したことで、区民一人ひとりが家庭で実践できる食品ロス削減への取組を発見できる展示となりました。



全景



デジタルサイネージ



クイズラリー

こんなことしたよ

令和4年度第2回全国連携展示(千葉県37市)

「魅力いっぱい ギュッと千葉」

令和4年11月9日(水)から12月22日(木)にかけて、特別区長会と広域連携協定を締結している千葉県市長会との連携事業として、千葉県37市の紹介展示を東京区政会館(1階エントランスホール)で開催しました。

この展示では、「自然」「レジャー・体験」「歴史・文化」「街・暮らし」などをテーマに紹介しました。

自然



レジャー・体験



歴史・文化



街・暮らし



主催/特別区長会・公益財団法人特別区協議会

連携協力/千葉県市長会(千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市)

後援/東京都

*上記の写真は、参加自治体の一部を掲載しています。

交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約10万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

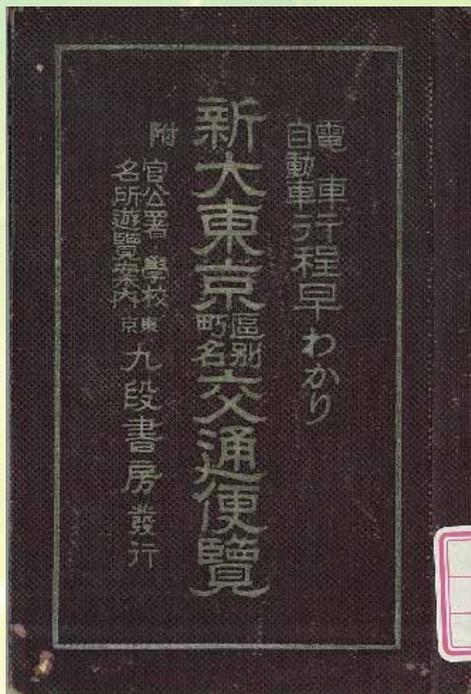
所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



今回は、昭和初期の東京の交通に関する資料を2冊ご紹介します。



▶▶▶ 電車自動車行程早わかり 新大東京区別町名交通便覧

九段書房 昭和15(1940)年発行

本書は、ポケットサイズの交通案内ハンドブックです。昭和15年当時の東京には35の区があり、本書には35区それぞれの町名と最寄りの東京市営電車の停留所、停留所からの距離が一覧で記載されています。付属の路線図(右)と合わせて見ると、目的地までの経路を調べることができます。



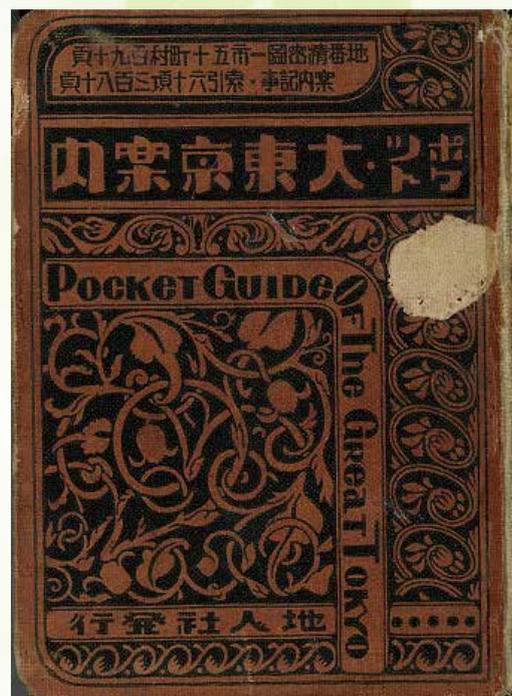
▶▶▶ ポケット大東京案内

地人社 昭和6(1931)年発行

本書には、東京とその周辺の地域を98に分割した詳細な地図などが掲載されています。左下は、当センターがある飯田橋周辺の昭和6年頃の地図です。当時は「飯田町」という地名で、現在も残っている飯田橋駅のほかに、飯田町駅とい



う駅があったことがわかります。「大東京の交通上最重の役割」をなしていた省線電車(鉄道省が管理していた電車)で、最初に開通したのが飯田町-中野間でした。



★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



大田区

海苔づくりの歴史・文化の 伝承と創造の場

「大森 海苔のふるさと館」

大田区・平和の森公園内にある「大森 海苔のふるさと館」は、江戸時代中頃から昭和30年代にかけて、大田区沿岸部で盛んに行われていた「海苔づくり」の歴史と文化を、今そして未来へと伝える文化施設です。

海苔のふるさとの文化を伝承

大田区の大森地域では、江戸時代の中頃から海苔の養殖が始まり、ここから全国各地へ海苔生産方法が伝えられました。1963年に東京都沿岸部の埋立計画に応じるため海苔の生産を終了するまでの永きにわたり、海苔生産の先駆的役割を果たしてきた大田区は、「海苔のふるさと」といえる地域です。

「大森 海苔のふるさと館」は、海苔養殖の歴史と生活文化の伝承、国指定文化財の保存と展示活用を大きな役割として、2008年に開館しました。

国指定重要文化財を数多く展示

1階は「海苔のまち 大森の記憶」、2階は「海苔づくりの1年と道具」というテーマで展示を行なっています。展示の基礎となっている「大森及び周辺地域の海苔生産用具」は、1993年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。これは、「大森海苔漁業資材保存会」が収集し、大田区立郷土博物館が引き継いだ生産用具に、大森・糀谷・羽田地区で収集した資料を加えたものです。養殖・採取・加工・海苔船及び船用具など9分野881点に及ぶ資料は、乾海苔生産の発祥地・先進地としての古い形式を残す用具から、機械導入の初期までのものを網羅しています。

また、海苔養殖風景の再現と技術の継承を目的として、海苔づくりを支えてきた伝統の手わざを体験するイベントも、常時開催しています。

海苔づくりを伝え続けたい

海苔づくりの技術は、元海苔生産者による協力者会が中心となって伝承してきましたが、高齢化が進み、メンバーが減少しつつあります。現在は、当館職員とともに、ボランティアも伝承を担っていますが、海苔づくりの歴史や技術をどのように正確に伝えていくのが、今後の課題となっています。

海苔の生産が終了して60年経つ大森地区には、今もなお多くの海苔問屋があり海苔流通業の重要な拠点の1つとなっています。

全国でもたいへん特徴的な文化施設である当館を訪れ、大田区沿岸地域の海苔づくりの歴史や技術にふれてみてください。



↑ 1階展示:1958年に造船された「海苔船」(写真右側)



↑ 2階展示:さまざまなテーマで海苔の文化を紹介



↑ 施設外観と海苔乾かしの作業



↑ 海苔生育の作業
(竹ヒビ建て・10月)



↑ 海苔生育の作業
(海苔採り・1～2月)

企画展「海苔養殖の一年と冬の一日」

会期:11月22日(火)～2023年4月16日(日)

会場:2階企画展示ギャラリー

内容:往時の海苔養殖の作業に関する写真を展示。一年間の作業の流れとともに、冬の収穫期の一日の作業も解説します。

大田区立大森 海苔のふるさと館

所在地 大田区平和の森公園2-2

開館時間 9:00～17:00(6～8月は19:00)

休館日 第3月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12/29～1/3)、
館内消毒のため臨時休館あり

入館料 無料

アクセス 京浜急行線平和島駅より徒歩15分

お問い合わせ 03-5471-0333





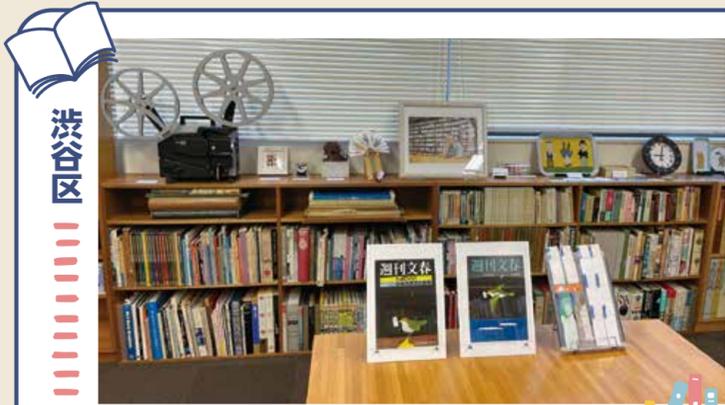
文化的生活を楽しむ場

23区図書館



今回は6区をピックアップします！

新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館や設備が利用できなくなる場合があります。開館時間等は各施設ホームページ等をご確認ください。



渋谷区

緑豊かで閑静な環境にある「身近な知的空間」

原宿が最寄り駅という土地柄からファッションコーナーを設けているほか、LLブック*やLGBTQ関連図書といった多様性への理解推進のための資料を集めた「りんごの棚」、渋谷区ゆかりのイラストレーターの「和田誠記念文庫」など、多くの特徴を持つ図書館です。学びと情報の拠点として、コンシェルジュやレファレンスカウンターの充実により、情報収集や個人研究に留まらず、社会活動へのきっかけや地域交流の機会となる幅広い情報を伝えられるよう目指しています。 *文章が苦手な人も絵や写真でわかる本



令和4年より、渋谷区立図書館システムへのLINE機能の付加により、来館せずにスマホで区立図書館の利用登録、本の予約や資料検索が可能になりました。中央図書館はまた、自動貸出機、IC予約棚、自動返却機を設置しているため、カウンターでスタッフと接触することなく利用することができます。

中央図書館

所在地 渋谷区神宮前1-4-1
開館時間 9:00～21:00(日祝は18:00まで)
休館日 第1月曜日、第3木曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)、特別整理期間(年7日間)
利用料金 無料
アクセス JR山手線原宿駅より徒歩5分
お問い合わせ 03-3403-2591



中野区

地域との連携により子育てとビジネスをサポート

2022年に開館した「中野東図書館」は、子育て支援とビジネス支援という2つのテーマに沿った蔵書や設備の充実を特徴としています。7階の「こどもフロア」は、親子での読み聞かせが気軽に行える非静音の運用を行い、子育てに関する資料のコーナーや、中高生がグループワークなどに利用できるティーンズルームを設置。9階の「ビジネスコミュニティフロア」には、コワーキングコーナーや、ミーティングルームがあり、さまざまな利用者のニーズに対応できる図書館となっています。



ビジネスに関する本や雑誌、子育て支援に関する資料が特に充実しています。また、自習もできる席や閲覧専用席など、さまざまな用途で利用できる席を多く設け、用途を分けて運用しています。自動貸出機や自動返却機の導入により、予約資料の受け取りが職員を介さずに行えるというところも特徴のひとつです。

中野東図書館

所在地 中野区中央1-41-2
開館時間 9:00～21:00
休館日 定休日毎月第2木曜日(その日が休日の場合は連休日でない日)
館内整理日毎月最終金曜日(その日が休日の場合はその前日、12/29～1/3、特別整理期間)
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ丸の内線中野坂上駅より徒歩2分
お問い合わせ 03-5937-3559



杉並区

緑の中で読書を楽しめる居心地のいい空間に

「杉並区立中央図書館」は、23区の区立図書館全体の中で、1、2を争う蔵書数を誇ります。杉並には数多くの文士たちが居住していたことから、井伏鱒二や太宰治といった杉並ゆかりの作家たちのコレクションが蔵書の大きな特徴です。2020年のリニューアル後は、閲覧席の数が大幅に増え、バリアフリー化やwi-fiの整備等も実現し、誰にでも使いやすい図書館に生まれ変わりました。図書館に対するニーズは多様化しており、今後も利用者の声にできる限り応える施設を目指してまいります。



新施設には、区民の要望に応じてカフェも設けられ、本を読みながら飲食を楽しむことができるようになりました。図書館の西側にはウッドデッキが整備され、多数のベンチやテーブルが配置されるなど、自然の中で読書や食事を楽しめる空間が広がっています。また、ホールでは、さまざまなイベントを開催しています。

中央図書館

所在地 杉並区荻窪3-40-23
開館時間 9:00～20:00(日祝・12/29・30は17:00まで)
休館日 第1・第3木曜日、12/31～1/4、特別整理のための臨時休館あり
利用料金 無料
アクセス JR中央線荻窪駅より徒歩10分
お問い合わせ 03-3391-5754



豊島区

地域特性をテーマにした資料を数多く揃える

「千早図書館」のある千早及び周辺地域はかつて池袋モンパルナスと呼ばれ、多くのアトリエが存在していました。近隣には、熊谷守一氏や山手樹一郎氏、またマンガ家の横山光輝氏が居住し、創作活動を繰り広げてきました。こうした背景から千早図書館では、「文化・芸術」や「横山光輝」をテーマにした特色のある図書館づくりを進めています。正面入口から入ると、泉像(其の28号)や鉄人28号、児童室には千早図書館のシンボル、きつねのちはやちゃんも利用者の皆さんを出迎えます。



豊島区立図書館は、区民の教育と文化の発展に寄与することを目的としています。「誰一人取り残さない、誰もが主役になれるまち」にぎやかな公共図書館を目指し、取組を進めています。豊島区が考える「にぎやかな公共図書館」は、多くの人にとって身近な場所であり、多くの人に利用される図書館です。

千早図書館

所在地 豊島区千早2-44-2
開館時間 9:00～19:00(土日祝は18:00まで)
休館日 第1火曜日、第4金曜日、年末年始(12/29～1/4)、特別整理期間
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ有楽町線千川駅より徒歩5分
お問い合わせ 03-3955-8361



北区

老若男女問わず利用してほしい「やさしい図書館」

旧陸上自衛隊十条駐屯地の赤レンガ倉庫の建物を活かした「北区立中央図書館」は、ユニバーサルデザインを採用した誰にでもやさしい図書館として、2008年に開館しました。北区に関する地域・郷土資料を収集・公開している「北区の部屋」や、北区ゆかりの実業家である「渋沢栄一翁に関する関連書籍コーナー」、北区名誉区民・アンパサダーであった「日本文学研究者ドナルド・キーン氏から寄贈されたコレクションコーナー」など特色豊かなコーナーを展開し、蔵書は約44万冊に及びます。



段差のないフロアや車いす等でも利用しやすい高さの書架や机、トイレを採用している、バリアフリーの図書館です。また、図書館の一部である、1919年に弾丸工場として建造された赤レンガ倉庫は、北区の近代産業の歴史や当時の建築技術を知ることができることから、令和4年7月に東京都選定歴史的建造物に選定されました。

中央図書館

所在地 北区十条台1-2-5
開館時間 9:00～20:00(日祝・12/28は17:00まで)
休館日 第1・3・5月曜日、第4木曜日(12・3月除く、祝日の場合は翌日)、3/31(土日月の場合は直前金)、12/29～1/4 ※12/14～令和5年1/4は図書館業務システム更新のための臨時休館
利用料金 無料
アクセス 京浜東北線十条駅より徒歩12分
お問い合わせ 03-5993-1125



荒川区

3つの機能が一体となる今までにない発想の施設

約60万冊の蔵書規模を誇る「中央図書館」、荒川区出身の作家・吉村昭氏の「記念文学館」、「子どもひろば」が一体となった施設として、2017年に誕生しました。「読書を楽しむまち・あらかわ」の拠点となる中央図書館は、約3万冊の絵本を所蔵する「えほん館」や、ビジネスに役立つ資料を有する「ビジネス支援コーナー」、公共図書館屈指の5千冊を超える俳句関連図書といった豊富な蔵書と多様なサービスにより、地域の知の拠点としての機能を全うすることを目標としています。



約900席の座席を備え、大きなテーブルや小さな子どもが座りやすい椅子、木陰での読書空間など、多様な閲覧席があります。また、記念文学館を出た先が図書館の吉村昭コーナーとなる構造や、子どもが絵本に触れる機会創設を目的とした遊びラウンジとえほん館の直結など、融合施設としての強みを活かしています。

ゆいの森あらかわ

所在地 荒川区荒川112-50-1
開館時間 9:00～20:30
休館日 第3木曜日、年末年始(12/29～1/3)、特別整理期間、メンテナンス休館日
利用料金 無料
アクセス 都電荒川線荒川二丁目停留場より徒歩2分
お問い合わせ 03-3891-4349



特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

東京都公文書館紹介展示 「東京の鉄道と地域」

主催 東京都公文書館、
(公財)特別区協議会
期間 令和5年1月11日(水)～2月28日(火)

特別区協議会展示 (仮称)「特別区自治情報・ 交流センター所蔵古地図紹介」

主催 (公財)特別区協議会
期間 令和5年3月8日(水)～3月29日(水)

特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
- 開館時間 平日|9:30～20:30 土曜日|9:30～17:00 日曜日・祝日・年末年始等|休館

休館等のお知らせ

休館期間中は資料の貸出予約と返却を中止いたします。ご不便をおかけしますが、利用者の皆様にはご理解のほどお願い申し上げます。

- 年末年始** : 令和4年12月28日(水)17時閉館
令和4年12月29日(木)～令和5年1月3日(火)休館
- 全館停電日** : 令和5年 1月20日(金)17時閉館
令和5年 1月21日(土)休館

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

Twitter公式アカウント

@tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

区立図書館のご紹介シリーズの第3回をお届けします。寒い冬の夜、スマホを本に持ち替えてゆったり過ごしてみたいはいかがでしょうか。

表紙:大森 海苔のふるさと館 外観